

企業成長戦略研究センター主催の「みなとみらい産官学ラウンドテーブル」第11回公開セミナーが2010年8月23日にランドマークタワーに於いて開催されました。

企業成長戦略研究センターは「知の交流・蓄積・創造・還流の場」を産官学の関係者に提供する事を目指して公開セミナーを開催しています。これまで「キヤノンの成長戦略」(1月)、「日産自動車の成長戦略」(4月)、「東芝の経営戦略」(7月)、「コマツの成長戦略」(10月)、「TDKの成長戦略」(2009年1月)、「成長戦略のためのバランス・スコアカード」(4月)、「経済予測の活用法」(7月)、「半導体型産業の組織イノベーション」(10月)、「プラス思考の事業再生」(2010年1月)、「ゼロエミッションリーダーシップに向けた日産自動車の取組み」(6月)を開催してきました。

今回は「臥龍企業の海外進出」と題し、東京大学 新領域創成科学研究科准教授戸堂康之先生より、経済成長の源泉としての技術進歩と企業のグローバル化が生産性を拡大する論理を踏まえ、国際化は必ずしも国内雇用を悪化させない点や「臥龍企業：日本では生産性が高いのにグローバル化していない企業」の国際化しない要因分析やグローバル化支援策の提言などについて御講演を頂きました。

当日は民間企業(全国展開)、民間企業(神奈川県)、海外展開済企業関係者等約30名の参加者があり、セミナーの最後には活発な質疑応答も行われました。

アンケートでも、マクロ経済成長についてよく理解できた、日本企業の活力向上に期待するなどの回答が参加者から寄せられました。

